

麦類赤かび病の防除時期について

小麦や六条大麦の赤かび病の効果的な防除時期は、「開花始め」と「その10日後」です。

農業技術センターにおけるコムギの出穂期は、平年に比べ早くなっており（表1）、赤かび病の防除時期も平年に比べ早いと予想されます。すでに、赤かび病の「子のう殻形成好適日」及び「子のう胞子飛散好適日」が断続的に出現しており（表2）、胞子の形成及び飛散量が増加している可能性があります。また、4月中旬までに赤かび病増殖の好適日が少なくても、その後好適日が頻出する場合があります（R4年度）。過去3年間、赤かび病の発生が多かったことから、ほ場における本病原菌の密度も高いと予想されます。

気象庁の1か月予報（4月2日発表）によると、今後の気温は高く、降水量は多いと予想されており、赤かび病感染に好適な条件となる恐れがあります。ほ場の生育状況を確認し、**2回防除を徹底**してください。

表1 小麦生育状況

品種	出穂期 *	平年値 **	播種日
イワイノダイチ	3/28	4/ 5	10/29
さとのそら	4/ 5	4/ 9	
タマイズミR	3/30	4/ 9	

* : 農業技術センターほ場（作物部調べ）

** : 令和8年度主要農作物奨励品種特性表の値

表2 子のう殻形成好適日及び子のう胞子飛散好適条件発生状況

	子のう殻形成好適日1)				子のう胞子飛散好適日2)			
	R8	R7	R6	R4	R8	R7	R6	R4
3月21日								
3月22日								▲
3月23日							▲	▲
3月24日							▲	
3月25日					▲		▲	
3月26日	●			●	▲	△	▲	◎
3月27日	●			●	▲		▲	▲
3月28日		●				◎	▲	
3月29日	●		●		▲	▲	◎	
3月30日	●		●		◎		▲	△
3月31日	●				◎		△	△
4月1日	●				▲	▲		
4月2日	●	●			▲	▲		
4月3日	●				▲		◎	▲
4月4日	●		●	●	◎		◎	▲
4月5日	●		●		◎		▲	
4月6日						◎	△	△

1) 子のう殻形成好適日

● : 降雨直後（当日及び翌日）かつ平均気温 13℃以上であった日

2) 子のう胞子飛散好適日

◎ : 濡れ条件と温度条件を両方満たした日

▲ : 濡れ条件のみを満たした日

△ : 温度条件のみを満たした日

※ : 濡れ条件 : 降雨直後（当日または翌日）または湿度が 80%以上
温度条件 : 最高気温が 15℃以上かつ最低気温が 10℃以上

令和4年、令和7年は注意報を発表した年度、令和6年は多発年です

* 岐阜市のアメダス地点データを基に作成（気象庁調べ）

- 農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>

- 当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病害虫防除所
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>